

# 好生館だより

KOSEIKAN DAYORI

2012.6

第15号



Photo : 平成 24 年度の新臨床研修医

- 理事長・館長: ごあいさつ ..... ①
- 好生館ニュース: 好生館「外傷センター」が始まりました ..... ①
- 診療科紹介: 乳腺外科、整形外科(脊椎外科) ..... ②
- 看護部だより ..... ③
- 医療安全だより: 平成23年度 ヒヤリハット報告 ..... ④
- 新病院建設の進捗状況 ..... ④
- 豆知識: 「モルヒネ」って知っていますか? ..... ⑤
- 知っていますか? 検査の話: 結核 ..... ⑤
- 新任医師の紹介 ..... ⑥
- 外来医師一覧表 ..... ⑦



地方独立行政法人 佐賀県立病院好生館

〒840-8570 佐賀市水ヶ江一丁目12番9号  
TEL 0952-24-2171 (代表) FAX 0952-29-9390  
<http://www.koseikan.jp/>



理事長  
十時 忠秀

## ごあいさつ

2012年4月1日、県病院好生館に外傷センター(前センター長)、乳腺外科(白羽根部長)、脊椎外科(川口部長)を新たに開設しました。好生館は来年春、嘉瀬町に新築移転します。建物が新しくなるだけでなく、中身も充実しなければなりません。「新しい皮袋に新しい酒」を目指したいと考えて

います。

外傷センターは九州では初めてで、全国でも珍しいものです。複数個所に大怪我を負う多発外傷は命に加え、後遺症を最小限度に食い止める必要があります。迅速に専門的な治療を開始する必要があります。救急医、脳外科医、胸部外科医、腹部外科医、整形外科医、麻酔科医、口腔外科医、形成外科医、産婦人科医、眼科医、耳鼻科医などが協力して治療にあたるべきです。センター開設は救命や後遺症軽減につながると信じます。

乳腺外科と脊椎外科の開設は好生館の長年の夢でした。今回、九州大学から優秀な医師を2名ずつ派遣していただきました。白羽根部長は「跡が目立たない内視鏡手術」の専門家です。川口部長は脊椎と脊髄神経の病気を専門に扱う先生です。高齢化が進み腰の痛みなどに苦しむ患者さんが多い佐賀県民にとって福音になることは間違いありません。



館長  
樗木 等

## ごあいさつ

今年も緩和ケア病棟の前の櫻が見事でした。一見すると大きな1本の櫻ですが、よく見ると2本の近接した櫻木が互いに補完して夫婦のごときです。同様に好生館は館外の施設と

連携してこそ佐賀県民に完結した良質な医療提供がなされます。櫻の開花を見るといつもそう感じます。

今年度4月は132人の新職員を迎えました。全職員の約15%で、毎年この程度の新人を迎えています。新陳代謝がなされるのは良いことですが、その分適正な教育と研修が責任として必要です。新しい人材が新しい好生館を支えていくと確信します。

新しい病院に向けて、医師をはじめとするスタッフの確保と安全で良質な医療提供を目指します。県民の皆様、医療従事者の皆様のご支援ご協力をお願いします。



センター長  
前 隆男

## 【好生館ニュース】好生館「外傷センター」が始まりました

外傷とは外的要因による脳、内臓、筋肉、骨などの臓器損傷を意味します。

特に、多発外傷(たはつがいしょう)は交通事故、労災事故、自然災害などにより被り、多部位多臓器にわたるため生命に危険を及ぼします。このような

多発外傷はより迅速に、より適切な治療が開始されないと機能や生命まで奪われます。この重篤な外傷を治療する専門施設が外傷センターです。当院では5年前よりこの構想が浮上し、2年前より具体的な検討に入りました。そして4月1日より外傷センターを立ち上げることになりました。これによって佐賀市とその周辺地域における多発外傷治療が滞りなく行われ、より多くの命が助かり後遺症に悩まされることがない事を目指しております。また、来年度の新病院開院までに外傷センターを充実させ対象地域を佐賀県全体に拡大して皆様が等しく治療が受けられるように頑張りたいと思います。

このように外傷センターは超急性期の外傷を対象としております。しかし外傷にはリハビリテーションなどの機能回復治療が必要です。このため、超急性期だけではなくその後の治療や経過観察もすべく外傷に特化した外来を立ち上げております。この専門外来は外傷整形外科と呼んでおり外傷センターの治療後の外傷や単独外傷などの地域の医療機関からの紹介される外傷に対応しております。

### 皆様へのお願い

外傷センターは交通事故や労働災害、自然災害などの場面で救急隊が判断して連絡搬送するものです。言い換えれば放置すると生命に重大な結果を及ぼす可能性が高い場合に限られています。この厳格な適応を遵守してこそ、県民の皆様、生命、機能を守ることに繋がると考えております。なお、単独外傷や骨折などは上述の外傷の専門外来(外傷整形外科:院内標榜)をお尋ねください。皆様のご理解の程よろしくお願い申し上げます。



## 【診療科紹介】 乳腺外科



部 長  
白羽根 健吾

### 内視鏡手術を積極的に取り入れています！

当科は今年度より新たに開設された診療科です。当科では“体にやさしい”乳がん治療に取り組んでいます。

#### ◆乳がんの内視鏡手術

2007年より九州大学病院臨床・腫瘍外科、乳腺グループで5年間文部教官として乳がん診療に携わり、培ってきた“乳がんの内視鏡手術”を好生館でも導入しています。適応となるのは、乳がんでは、「根治性」と「美容性」の両立のため、がんが小さく、かつ周囲に病変が及んでいない状況で、かつ内視鏡手術のご希望のある患者さんに、内視鏡手術を行っています。また、明らかな増大傾向を示す良性腫瘍（線維腺腫、葉状腫瘍、乳腺症）や、細胞検査等での診断が困難で、腫瘍摘出による詳細な検査が必要な場合などにも内視鏡手術を行うことがあります。順調な方で術後3日、遅くとも1週間後には退院できます。また、良性腫瘍では日帰り手術（デイサージェリー）も可能です。

#### ◆乳がんのオーダーメイド治療

世界のデータとガイドラインに基づいて、病状に応じた適切な治療法を提案しています。手術療法は先に紹介した内視鏡手術のほか、通常の乳房温存手術（乳房を残す手術法）、乳房切除術、乳房同時再建手術（乳房温存手術が不可能な場合に、乳房を全摘した後に乳房の形を作る手術）、センチネルリンパ節生検、腋窩リンパ節郭清等があり、患者さんと綿密に話し合い適切な手術を行います。またホルモン療法・化学療法・放射線療法・免疫療法などの治療法を組み合わせたオーダーメイド治療で、個人を尊重した乳がん治療を目指します。

#### ◆乳がんチーム医療

好生館では乳腺専門医のほか、乳がん看護認定看護師、皮膚ケア認定看護師、がん化学療法認定看護師、緩和ケア認定看護師、ソーシャルワーカー、専門薬剤師等、専門医療者が多数在籍しており、お互いに連携・協力し合い、根拠に基づく（Evidence based medicine; EBM）最善の治療が行われるよう、チーム医療に努めています。

## 【診療科紹介】 整形外科（脊椎外科）



部 長  
川口 謙一

### 脊椎手術でも早期離床・退院ができます！

整形外科の一部門として、“せぼねの病氣”を専門とした脊椎外科が本年4月より新設されました。現在は、2人体制で診療を行っており、腰椎椎間板ヘルニアや腰部脊柱管狭窄症、頸髄症、脊椎圧迫骨折など幅広い疾患を扱っています。また、当科では、体にやさしい低侵襲手術を行っており、特に内視鏡手術や脊椎圧迫骨折に対する椎体形成術に力をいれています。

#### 1) 内視鏡手術

腰椎椎間板ヘルニアや腰部脊柱管狭窄症に対して脊椎内視鏡手術を導入しています。直径16mmの筒を手術部位に挿入し、その筒の中で手術操作を行うことで組織の障害を最小限に抑えます。手術による創が小さい（2cm程度）ことに加え、手術中・手術後の出血が少ないこと、手術後の痛みが少なく、早期から離床が開始できることなどが特長です。入院期間は1週間から10日程度となります。

#### 2) 脊椎圧迫骨折に対する椎体形成術

骨粗しょう症が原因でおこることが多い脊椎圧迫骨折は、安静とコルセットで治療を行うことが原則ですが、治療がうまくいかない場合や診断が遅れた場合などは骨の癒合が遅れ、いつまでも痛みが続くことがあります。このような患者さんに対して、骨の中にセメントを注入し骨を安定化させ痛みを軽減させる治療が椎体形成術です。背中約1cmの創2か所から、専用の器具を使用して手術を行います。手術は1時間程度であり、手術の翌日よりほとんどの方が歩行可能となります。

低侵襲手術を含め脊椎疾患に対する治療を安全に行い、治療成績向上に努めていきたいと思っております。また今後も、佐賀県のみなさまに最新の医療を提供できるよう日々努力していきたいと考えております。脊椎疾患といっても、単に背中や腰の痛みだけではなく、手足や臀部のしびれ・痛みなど、さまざまな症状を現すことがあります。このような症状でお困りの方や不安をお持ちの方はぜひ一度脊椎外科外来におこし下さい。

## 看護部だより

# 感染リンクナースを育てます

病院感染対策において重要なのは、医療従事者の感染対策に関する知識や技術の習得だけでなく、看護や医療処置のなかで、その知識や感染対策の技術が実践されるということです。ケア改善のための高い意識と基礎知識を併せ持つリンクナースは、組織的かつ効果的な感染対策活動を実践していくうえで重要な人的資源です。知識や技術を臨床現場で実践に繋がられる人材を育てたいと考え、平成23年度より看護部安全対策委員会のもと教育を開始し、部署で実践・指導できる感染リンクナースの育成を始めました。

当院におけるリンクナースの職務は、「所属する部署における感染対策の中心的役割を担い、感染対策の実践を推進する」ことにあります。平成23年度は「感染リンクナースの役割を理解し実践できる」「感染対策に必要な知識を学び、部署における感染対策が実践できる」ことを目標に、年8回の研修会を開催し基礎知識の学習と部署ラウンドによる問題の把握と検討に取り組みました。「療養環境整備の見直し」や「手指消毒の遵守率向上」など、リンクナース一人ひとりが自部署の感染対策上の問題について取り組み、少しずつ改善し始めているところです。



個人防護具の着脱演習



リンクナースによる部署ラウンド

## 好生館に乳がん看護認定 看護師が誕生しました



5月から  
乳腺外来を担当  
しています。

認定看護師  
小野 由喜子

平成21年に乳がん看護認定看護師を取得し、好生館に平成24年4月採用になりました。乳がん看護認定看護師は、診断後の治療選択のサポート、術後のボディイメージの変容に対するケア、リンパ浮腫予防のためのケアやアドバイスをを行います。現在、外来ではリンパ浮腫を発症されている方に対して相談に応じています。患者さんとご家族が安心して、納得した治療ができるような相談窓口になっていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

## サガン鳥栖の監督・選手が 小児病棟を慰問されました

平成24年5月23日サガン鳥栖の監督と選手が小児病棟を慰問されました。サガン鳥栖より子供たちにボール、ユニフォーム、フラッグ、色紙の贈呈があり、心温まる楽しいひと時でした。



サガン鳥栖の監督・選手と子供たち





専従リスクマネージャー

森田 洋子

平成23年度ヒヤリハット報告件数は1,342件でした。内容別では、薬剤に関する項目374件、転倒転落325件、ドレーン・チューブ類に関する項目が277件で、この3つで全ヒヤリハットの約70%を占めていました。転倒転落は病室で排泄移動時に多く、排泄移動時の状況としては、

①トイレ歩行時、②ポータブル便器使用时、③ベッドサイドで起立時、が多い事から患者要因として筋力の低下や運動機能低下が考えられます。ベッド転落は、患者がベッド柵を乗り越えて転落した事例、患者自らベッド柵を降ろして転落した事例が多く、認知・理解力の低下が患者要因と思われます。他には、薬剤、化学療法後や手術後など治療的要因もありました。環境要因としては、ベッド柵、オーバーテーブル、車椅子、センサーマット、点滴スタンド、酸素架台、カーテン、スリッパの等があります。

ドレーン・チューブ類に関する項目では、経管栄養チューブの自己抜去が最も多く、薬剤に関する項目は、無投薬、過剰投与、過少投与、患者や薬剤投与方法、また調剤などの間違いに関しての報告が多くありました。

ヒヤリハット報告から言えることは、転倒転落やチューブ抜去を予防するには、まず入院時の患者の状態を正確に把握し、治療に伴う危険要因を把握して環境を整えケアしていくことが必要だということです。薬剤に関しては、与薬までの過程をわかりやすくすること、指差し呼称をして自分でエラーを気付かせ、エラーを予防することが大切だと思います。指差し呼称には何もしないときに比べエラーを6分の1に減らす効果が実証されています。

ヒヤリハット報告は有害事象がおきたから提出するものでも、個人を攻めるものでもありません。一つの気づき、報告が安全を守ります。職員1人1人がヒヤリハット報告を行い、情報共有して医療安全活動へ参加して行きましょう。

## 新病院建設の進捗状況



新病院建設部長

川崎 真澄

梅雨の時期となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

新病院の病院棟建設も佳境に入ってきており追い込みの状況となっておりますが、長雨が続きますと、何かと工事にも影響することがありますので、当病院新病院建設部及び工事の現場におきましても、工事の安全には万全を期して臨むこととしています。

新病院の建設状況ですが、病院棟につきましては躯体の工事がほぼ完了し、現在、内装工事と外壁の工事を並行して実施しています。また、エネルギーセンター棟には非常用発電機やターボ冷凍機、吸収式冷温水器などの熱源機器も設置され主要設備の整備も進んできている状況です。10月頃には病院棟の全体の容姿が皆様にご覧いただけるのではないかと考えています。

研修・宿舎棟(6階建:1~3階…研修エリア、4~6階…研修生宿舎エリア)の建設工事も4月7日(土)に建設の安全祈願式を執り行い、工事に着手いたしました。今後、保育所棟、職員宿舎、院外薬局、外構の工事も次々に開始されることとなり、工事が輻輳することとなりますので、安全には十分に気をつけて進めていくこととしています。

病院棟の工事は12月の竣工予定で、引渡しを受けた後、医療機器の搬入や医療情報システムの整備、什器備品類の搬入などを行い、開院に備えることとしています。

開院は、平成25年5月を予定していますが、佐賀県の中核的医療機関としてまた基幹災害拠点病院として、県民の皆様これまで以上のより良い医療の提供ができるよう、関係者一同精一杯努力していく所存ですので、皆様方より一層のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



新病院のエントランスホールイメージ

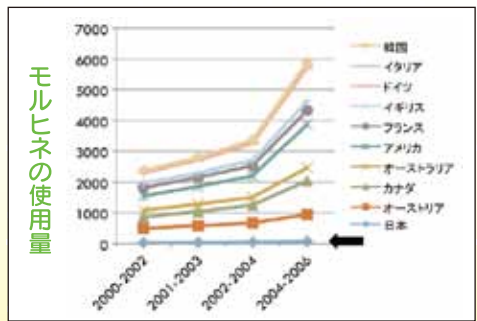
# 豆知識 「モルヒネ」って知っていますか？



薬剤部長  
松永 尚

モルヒネ」と聞くと麻薬中毒、廃人、覚せい剤などを思い浮かべ、印象が悪い薬と誤っていませんか？ しかし、今は緩和医療の中で無くしてはならない大切な薬です。モルヒネを上手に使うことでいろんな痛み、特にがんの痛みを和らげることが可能になりました。

モルヒネは世界中で使用されている薬ですが、日本は痛みを我慢することを美德として、あまり使用されていません。**がんの治療において痛みを我慢することに何の意味もありません。**



モルヒネで痛みが除去された患者さんは、よく眠れ、よく食べられ、よく考えられるようになり、生活の質(QOL)が著しく改善し、むしろよき延命をもたらすといえます。



痛みを我慢していませんか？ 以前はがんの痛みを取ることは困難でした。しかし今では安全に痛みを取り除くことができるようになりました。それはWHO(世界保健機関)が提唱したWHO方式がん疼痛治療法に沿って治療することにより、日本でも約90%のがんの痛みが緩和されるようになりました。この治療法にはオピオイドという医療用麻薬を使用します。モルヒネもその中に含まれます。モルヒネを上手に使えば、麻薬中毒も廃人になることもなく安全に使用できます。

**もう、がんの痛みを我慢する必要はありません。**

## 知っていますか？ 検査の話 結核



検査部副技師長  
吉田 緑

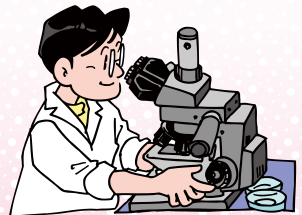
かつて日本で長い間、「国民病」「亡国病」と恐れられた結核も戦後は急速に低下し、一時は「結核の流行は終わった」といわれるくらいになりました。ところが1996～1997年にかけて結核罹患率が増加に転じ、その後3年間上昇を続けました。その後やっと減少傾向に戻りましたが、結核は「再興感染症」として再び注目されるようになりました。現在結核罹患率の減少傾向は続いています。国内では未だ2万3千人以上の結核患者が発生しています。

結核は、結核菌(Mycobacterium tuberculosis)という細菌が体の中に入ることによって起こる病気です。結核菌が肺の内部で増えて、肺が腫れてしまいます。続いて肺が壊れていき、呼吸する力が低下します。結核の診断は、X線撮影、細菌検査などで行われています。現在の日本では肺結核の80%が細菌検査で結核と診断されています。

結核菌を検出する方法としては、結核菌を顕微鏡で検出する方法、培養する方法、DNAで検査する方法などがあります。それぞれ特徴があって、検査にかかる日数なども変わってきます。本当に結核かどうかは、培養で結核菌が陽性かどうかで判断されます。顕微鏡やDNAの方法では、生きている結核菌かどうかの判定まではできません。

**検査に出す痰がどのようなもので結果が大きく左右されます。**白血球は菌を取り込んで体外へ排出しようとし、黄色い痰となります。体調や時間帯で痰の出方は違ってきます。**検査に適した痰を出すためには、うがいをする、背中を擦ってもらい、深呼吸をするなどを行うとよいでしょう。それでも痰が出難いようなら、誘発して痰を採る方法があります。痰の様子をみて対応していきましょう。**

早期発見・早期治療は本人の重症化を防ぐためだけでなく、大切な家族や職場等への感染の拡大を防ぐためにも重要です。





# 新任医師の紹介

(平成24年4月1日~6月30日)



消化器内科  
医師  
**渡邊 聡**



呼吸器内科  
医師  
**柿野 千穂**



乳腺外科  
部長  
**白羽根 健吾**



呼吸器外科  
医長  
**寺崎 泰宏**



小児外科  
医長  
**田口 匠平**



小児外科  
医師  
**吉丸 耕一郎**



消化器外科  
医長  
**隅 健次**



消化器外科  
医師  
**篠崎 由賀里**



消化器外科  
医師  
**山地 康大郎**



産婦人科  
医師  
**八並 直子**



小児科  
医長  
**西村 真二**



小児科  
医師  
**力武 菜穂子**



泌尿器科  
医師  
**李 賢**



泌尿器科  
医師  
**長沼 英和**



整形外科  
(脊椎外科)  
部長  
**川口 謙一**



精神科  
部長  
**植木 裕司**



心臓血管外科  
医師  
**織田 良正**



脳神経外科  
医師  
**高口 素史**



脳神経内科  
医師  
**岩崎 めぐみ**



循環器内科  
医師  
**白濱 尚治**



病理部  
部長  
**明石 道昭**



救命救急センター  
医師  
**佐竹 義泰**



消化器内科  
医員  
**田中 雄一郎**



腎臓内科  
医員  
**斧沢 幸司**



肝胆膵内科  
医員  
**荒木 紀匡**



肝胆膵内科  
医員  
**村山 賢一郎**



乳腺外科  
医員  
**中村 聡**



呼吸器外科  
医員  
**坂田 省三**



消化器外科  
医員  
**伊藤 孝太郎**



産婦人科  
医員  
**宮田 早織**



眼科  
医員  
**河田 康祐**



小児科  
医員  
**池添 樹里**



泌尿器科  
医員  
**白水 翼**



整形外科  
(脊椎外科)  
医員  
**上森 知彦**



整形外科  
医員  
**初井 健太**



整形外科  
医員  
**秋穂 俊輔**



循環器内科  
医員  
**岡原 有秀**



麻酔科  
医員  
**小池このみ**



麻酔科  
医師  
**田代 直規**



糖尿病代謝内科  
医員  
**高木 聡子**

# 外来医師一覽表

(平成24年6月1日現在)

区分		月	火	水	木	金	
内科	午前	新患	1・3・5週 近藤 誠司	松石 英城	大塚 伸	渡邊 聡	柿野 千穂
		2・4週 榎藤 久司	榎藤 久司	中村 恵	土居 隆志	藤本 優/秋山 巧	
		呼吸器	新患 柿野 千穂	岩永健太郎	森塚 達也	岩永健太郎	森塚 達也
		再来 森塚 達也	柿野 千穂	岩永健太郎	柿野 千穂	岩永健太郎	
		肝臓・胆道・膵臓	藤本 優 大河	秋山 巧	川添 聖治 大河	川添 聖治	藤本 優 秋山 巧
		消化器(胃・腸)	富永 直之	緒方 伸一	渡邊 聡	緒方 伸一	富永 直之
		血液	新患 近藤誠司/桑原伸夫	桑原 伸夫	近藤 誠司	桑原伸夫/近藤誠司	松石 英城
		再来 松石 英城	桑原伸夫/榎藤久司	松石 英城	桑原伸夫/近藤誠司	榎藤 久司	
		腎臓・透析	大塚 伸	中村 恵	斧沢 幸司	大塚 伸	中村 恵
		糖尿病内分泌	土居 隆志		土居 隆志		土居 隆志
		腫瘍内科 (再診・院内コンサルト)	嬉野 紀夫	嬉野 紀夫	嬉野 紀夫	嬉野 紀夫	嬉野 紀夫
		感染症 (再診・院内コンサルト)	福岡 麻美	福岡 麻美	福岡 麻美	福岡 麻美	福岡 麻美
		膠原病・リウマチ (第2・4金 14:00~)					多田 芳史
消化管内視鏡	緒方、渡邊	川添、藤本	緒方、富永(直)	秋山、富永(直)、渡邊	緒方、渡邊		
気管支鏡	岩永、柿野		森塚、柿野	岩永、森塚			
腹部エコー	川添、秋山	大塚(大)	藤本、秋山	藤本、大塚(大)	川添、大塚(大)		
透析	中村	大塚(伸)	中村・大塚(伸)	中村	大塚(伸)		
外科	午前	消化器一般	新患 田中 聡也	手術 田中 雅之	手術 廣橋 喜美	総 同 診 隅 健次	手術 佐藤 清治
		再来 廣橋 喜美	手術 佐藤 清治	手術 隅 健次	手術 隅 健次	手術 田中聡也/田中雅之	
		乳腺			白羽根健吾	白羽根健吾	
		呼吸器	新患 光岡 正浩	光岡 正浩	光岡 正浩	光岡 正浩	
再来 光岡正浩/寺崎泰宏/岡本裕介	光岡正浩/寺崎泰宏/岡本裕介	光岡正浩/寺崎泰宏/岡本裕介	光岡正浩/寺崎泰宏/岡本裕介	光岡正浩/寺崎泰宏/岡本裕介			
小児外科	生野 猛/田口匠平	手術	吉丸耕一朗	生野 猛/田口匠平	手術		
眼科	午前	担当医 (新患のみ)	手術 古賀 隆史	手術 荒木 理子	手術 古賀 隆史	手術 古賀 隆史	
		福永由起子 河田 康祐	福永由起子 河田 康祐	福永由起子 河田 康祐	福永由起子 河田 康祐		
産婦人科	午前	婦人科	安永 牧生 八並 直子	安永 牧生 八並 直子	手術 (急患のみ担当医)	手術 (急患のみ担当医)	
		産科	小野 剛史		安永牧生/宮田早織		
小児科	午前	市丸 智浩 熊本 愛子 荒木 薫	西村 真二 力武菜穂子 荒木 薫	市丸 智浩 西村 真二 力武菜穂子	市丸 智浩 力武菜穂子 荒木 薫	西村 真二 磯村 直子 荒木 薫	
		午後	アレルギー外来 /予防接種/乳児健診	予防接種	予防接種/ アレルギー外来	アレルギー外来 1ヶ月検診	予約外来
	午後(時間外)	その日の担当が診察します。					
耳鼻 いんこう科	午前	手術	宮崎 純二 恒富 今日子 松下 英友	手術	宮崎 純二 恒富 今日子 松下 英友	宮崎 純二 恒富 今日子 松下 英友	
皮膚科	午前	武下 泰三 北 和代	武下 泰三 北 和代	武下 泰三 北 和代	手術	武下 泰三 北 和代	
	午後(16:00~)					予約外来(再診のみ)	
泌尿器科	午前	徳田 倫章 諸隈 太 内野 洋志 李 賢	徳田 倫章 内野 洋志 李 賢 長沼 英知	手術	徳田 倫章 諸隈 太 李 賢 長沼 英知	諸隈 大 内野 洋志 長沼 英知	
		隆男 竹内 直英	隆男 竹内 直英	隆男 竹内 直英	隆男 竹内 直英	隆男 竹内 直英	
整形外科	外傷整形外科	野口 康男 前 隆男 佐々木 宏介	佛坂 俊輔 (新患)	手術	野口 康男 前 隆男 佛坂 俊輔 (再患)	野口 康男 前 隆男 佛坂 俊輔 (再患)	
	関節・一般 整形外科	川口 謙一			川口 謙一	川口 謙一	
	脊椎外科	川口 謙一			川口 謙一	川口 謙一	
	午後	予約再来	予約再来		予約再来	予約再来	
放射線科	消化管診断外来			梶原 哲郎	梶原 哲郎		
	画像検査 部門外来	野尻 淳一 (真武 邦茂) (梶原 寿浩)	川野 倫作 (野尻 淳一) (梶原 寿浩)	真武 邦茂 (川野 倫作)	川野 倫作 (野尻 淳一)	川野 倫作 (野尻 淳一) (梶原 寿浩)	
	消化管造影	梶原 哲郎	梶原 哲郎		真武 邦茂	梶原 哲郎	
	放射線治療	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄 (徳丸直郎:午後)	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	
脳神経内科	午前	新患 関 賢太	高島 洋	関 賢太	岩崎めぐみ	岩崎めぐみ	
	再来 高島 洋	高島 洋	岩崎めぐみ	岩崎めぐみ	高島 洋		
午後	(14:00~16:00)				パーキンソン病 外来(予約制)		
脳神経外科	午前	坂田 修治 萩原 直司	萩原 直司	坂田 修治 高口 素史	手術	坂田 修治 高口 素史	
精神科	午前	植木 裕司	植木 裕司	植木 裕司	植木 裕司	植木 裕司	
	午後	植木 裕司	植木 裕司	物忘れ外来	植木 裕司	植木 裕司	
循環器内科	午前	貞松 研二 塩見 哲也	吉田 敬規 古閑 靖章	吉田 敬規 白濱 尚治	心カテ	林田 潔 塩見 哲也 三根 大悟	
	不整脈外来	永元 康嗣		永元 康嗣			
心臓血管外科	午前	手術	内藤 光三 村山 順一	手術(午前中のみ 紹介・予約:榎木等)	内藤 光三 村山 順一	手術	
緩和ケア科	午前	小杉 寿文 濱田 献			小杉 寿文 濱田 献		
人間ドック	一般	井之口香映子	井之口香映子	榎藤 久司	井之口香映子	井之口香映子	
	脳ドック	高島 洋	坂田 修治			高島 洋	
	心臓ドック				榎木 等/林田 潔		

【発行】 ニュースレター小委員会  
(問合せ先) 広報室 0952-28-1151